

10月6日

テーマ：仕えるために来たのです

聖書箇所：マルコの福音書10章42節～45節

◆今日のみことば

人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。
マルコの福音書10：45節

◆メッセージ

イエスさまが十字架を目指して歩いておられたときに、弟子たちのなかにも「もしも、イエスさまが栄光を受けたときには、僕を、わたしを右と左の席に座らせてください」と、ぬげがけして願い出た人がいました。だれもが一番になろうと競い合います。

イエスさまは、心を痛めて言われました。「この世の国では、王様が力づくで人々を支配します。」また、お金で会社や町を大きくしようとします。人に命令をしたり、大きな態度をとったり強いことが偉いことのように思っています。「しかし、神さまの国ではそうではありません。神さまの国の働き人は、みなのもべになって、自分と同じように他の人を大切にします。」と、教えられました。

それは誰よりもイエスさまご自身が、神さまのみ位をすてて私たちのなかに住んでくださり、十字架への道を歩んでくださったことからわかります。イエスさまは、私たちの醜い罪を全部背負って十字架にかかり、私たちが受けるべき

罰を身代わりに受けて死なれました。それで、心からイエスさまを信じる人は、罪赦され、光の子どもとして生きることができるのです。イエスさまは、限りなく低く、いのちまで捨てて、仕える愛を教えてくださいました。仕えるとは、他の人の益を考えて、自分のものを分かち合うこと。イエスさまの深い愛を知らされた私たちは、イエスさまから受けた大きな愛の負債を、周りのお友達に仕えることで、お返ししていくことができるのです。



◆お祈り

「いのちを捨てて仕える愛を教えてくださいましたイエスさま、ありがとうございます。イエスさまが愛して下さったお友達を大切にして歩むことができますように。」

(北新潟キリスト教会牧師 原山康伸)